

たんぽぽ うしん

第16号

[編集人] 社会福祉法人 札幌協働福祉会/アクティビティ・サポートセンター協力会 牧野 秋夫
〒002-8055 札幌市北区篠路町福移147-3 TEL:011-792-3969/FAX:011-792-2887
HP <http://sapporo-kyoudoufukusikai.jp> E-mail:info-honbu@sapporo-kyoudoufukusikai.jp
[発行人] 北海道障害者団体定期刊行物協会 [発行] 2013年4月10日発行(毎月10日発行) [定価] 20円

新たな若い体制へご支援を



—法人原点に戻って—

札幌協働福祉会 副理事長 辰田 収

昨年11月役員改選があり、池田亮さんが総合施設長になりました。今年度から、池田総合施設長を中心に若手リーダーたちが育ち、各事業所の特色を生かしながら、連携と役割分担、機能強化を進め、札幌協働福祉会全体の力量を高めることが求められています。アクティビティセンター開設以来17年の歳月の中、障害児・者支援は、昨年12月にふれあいセンターA・yell(アエール)を開設し、成人については、今年度で9事業所264名の定員、児童は5事業所50名定員、法人発祥の地厚別区札幌協働保育園(120名)に加え、南あいの里にも昨年4月にあいの里協働保育園(60名)という広がりをもった法人に育ちました。ユーザーの皆さん、保護者様、地域の皆さん、若いリーダーたちの育成にご支援をお願いします。

3月25～4月4日、福島の子どもの健康回復を願い、「おもいきり春休み in 北海道」を13名の子どもを迎え、山の家きょうどうで開催しました。2011年夏から始まったこの取り組みは回数を重ね、参加者もダウン症・PDD・アスペルガー等障害児が過半数を越え、札幌協働福祉会ならではの取り組みになっています。春の一番忙しい時期に、新規採用者の研修もかねて、若い施設長たちのがんばりで、運営され、事故もなく無事終了したことに、心から感謝します。3・11東日本大震災と続く原発事故、その子どもたちの健康被害を最小限にしようと開始したこの取り組みは、社会福祉事業の取り組みの原点ですが、今年で3年目です。職員研修の場として有効活用しつつ、5年をめどにあり方を検討する予定です。

こんなことを書いたのには理由があります。2011年

春に体調を崩し、5月に福島県田村市に救援に行く予定を取りやめ、急きょ右大脳動脈瘤の入院手術となりました。さらに入退院を繰り返し、福島の子どもたちを迎えた「おもいきり夏休み in 北海道」は、最終日のみ顔を出しました。その後体調が回復せず、運動療法ということで、2012年の夏以降、闘病と仁木の山の家地域一帯の探索・調査を兼ねて山の家きょうどうに出入りすることが頻繁になっています。私もいつのまにか66歳、介護保険の適用者です。

私は、総合施設長を降り、副理事長になりました。同年10月児童虐待防止法より遅れて12年、障害者虐待防止法が施行されました。おりしも柔道界をはじめとして体罰の見直しが進んでいます。札幌協働福祉会は北欧に始まるノーマライゼーションと非暴力で平和的なジェントルティーチングを理念として掲げてきていますが、今年こそ、池田総合施設長等若いリーダーたちのエネルギーで、法人原点に立ち返り、障害者の人権と権利を守る取り組みをさらに進めます。

行事予定

《拓北・あいの里地域の行事予定》

- 4月20日(土) まちづくりセンター所長歓送迎会
- 5月18日(土) 拓北・あいの里連合町内会総会
場所:いずれも拓北・あいの里地区センター

《札幌協働福祉会の行事予定》

- 4月19日(金)～20日(土)
新入職員研修 場所:山の家きょうどう
- 4月27日(土)～29日(月)
釣りとは花見とパークゴルフの旅(熊石)

おもいっきり春休み in 北海道



大江学園陶芸館にて

福島プロジェクトと、思いと・・・

あいのさとアクティビティーセンター 施設長 井内 秀典

みんなで楽しく食事中



「おもいっきり春休み in 北海道」が3月25日から4月4日の期間、「山の家きょうどう」にて開催されました。

最初の実施より数えて4回目の開催となった福島プロジェクトは、今回13名の児童が参加し、子どもたちの元気いっぱいの笑い声で普段は静寂な森も、その時だけは活気あふれるエネルギーな声がこだましておりました。

開校式の前、参加した一人の子どもが「春なのになんで冬より雪が多いの??？」という言葉で周りを笑わせていましたが、この冬北海道は、例年以上の大雪に見舞われ仁木町も3月末の時点で、有に2mを越す雪が堆積しておりました。そんな残雪の中でも子どもたちは思い思いの屋外遊びを楽しみ、仲間やスタッフとのスキンシップを深めていました。今回も陶芸教室にて子どもたちの力作が生まれました。また冬に制作し完成した焼き物を手渡され、その出来栄えに感激?していたようです。屋外活動では雪合戦、かまくら作り、タイヤチューブ滑りと疲れを知らない子どもたちはとにかく遊び回りました。

参加人数が少かった事も起因しているのか子どもたちは屋内活動もルールを守り特に喧嘩も

なく穏やかに参加していました。その中で特に印象深かったのは広汎性発達障害を抱えるご兄弟でした。初回に参加した時は全て個別対応で生活リズムもつかめず、混乱しておりましたが、今回は行事参加や活動等あらゆる面で成長が見られ、集団行動も容易に行えていました。見違える程の成長でした。子どもたちにとって「山の家」での経験はいろいろな気付きや成長の場でもあるのでしょう。

山の家がある仁木町について少し触れておきます。この町は北海道の西部、後志管内北部にあり、北緯43度8分、東経140度46分に位置し、北は余市町に隣接し、小樽市まで24km、札幌市まで58kmの距離にあります。余市町を隔てて石狩湾に面しているため、対馬暖流の影響を受け四季を通じて温暖多湿、東西の山々が四季の防風壁になり強風が少なく降雪期間も短く、霜も少ないため農作物の栽培に特に適しており、かんきつ類等の南国産の作物を除く、ほとんどの作物が栽培可能な気象条件下にあります。特にさくらんぼとトマトの栽培が盛んですがイチゴやプルーン、ブルーベリー等、果実栽培は多様に行われており、フルーツの町としても有名な場所なのです。

私は奇しくも、この「仁木町」の出身であり、このプロジェクトには特別な思いがあり参加しています。実はこの仁木町の半径20キロ圏内には「泊原発」があるのです。ですから福島を私はどうしても他人事には思えない複雑な心情があります。傷ついた子どもたちの為に今後もあの笑顔がいつまでも続くように、またこの仁木町が子どもたちの第二の故郷に、思い出の場所になれるよう関わられたらと思っております。頑張れ！福島・・・。

3/20(水)

札幌協働福社会 職員研修・歓送迎会

3月20日、全職員を対象にした「職員研修会」が「拓北・あいの里地区センター」で行われました。

研修会は辰田副理事長の今年度の方針についてや、職員5名による事例発表が行われ、講演では、福島県から札幌市に自主避難されている穴戸隆子さんが「原発事故で避難している私たちのことをもっと理解してほしい」と度々声を詰ませ会場の皆さんへ訴えました。

また、18時からは、北区の「ガトーキングダム札幌」で新年度から新たにスタッフに加わる皆さん、また今年度で退職される方々へ、歓送迎会が開かれました。

さらに会場では功労賞として5名の職員が表彰を受け、森理事長から表彰状が手渡されました。



新人職員の皆さん



雇用促進住宅桜台宿舎
避難者自治会組織「桜会」代表
穴戸隆子さん(写真・右)



森理事長から花束が手渡される
退職者の皆さん



助言者/扇子幸一先生
北海道教育大学教授



発表者/井戸努
サポートセンター



発表者/福田礼子
当別・高岡



発表者/藤田幸枝
地域支援室



発表者/山藤悠斗
第2むう



発表者/早坂清花
アートセンター

3/19(土)

3/23(土)

札幌協働保育園 あいの里協働保育園

卒園式

3月9日に「札幌協働保育園」(池田亮園長・定員120名)、23日には、昨年4月に開園した「あいの里協働保育園」(村山雅子園長・定員60名)の卒園式が行われました。

「あいの里協働保育園」では、昨年4月に開園して初めての卒園式となり、男女8名の園児がはれて卒園の日を迎えました。

最初に村山園長からおめかしをした卒園児の皆さんにお祝いの言葉が送られ、続いて一人一人に卒園証書が手渡されました。



あいの里協働保育園
村山雅子園長の挨拶



札幌協働保育園
卒園児担任あいさつ



卒園アルバムと記念品

2013年
1月～3月

イベント報告コーナー

1/26(土)

札幌協働福祉会

2013 ニューイヤーパーティー

1月26日、札幌協働福祉会の新年恒例イベント「2013 ニューイヤーパーティー」が、「拓北・あいの里地区センター」を会場に楽しく、賑やかに開催されました。



パラパラキーン
軽快なリズムに
乗って♪



お祝いのプレゼントを手に
新成人の皆さん



拓北あいの里連合町内会
松井会長のご挨拶



音楽ムーブメントに参加の皆さん



つきたてのお餅が振るまわれました



よさこいチームによる踊り



篠路太鼓の皆さんによる演奏

2/3(日)

～16(土)

山の家1泊体験研修

2月3日から16日までの間、各事業所では、仁木町「山の家きょうどう」にて山の家1泊体験研修を行いました。各事業所では、温泉入浴やそりすべり体験など、楽しいイベントを企画し、冬の仁木町の山の家を満喫していました。



2/15～16 「学園通り あくていぶ」
山の家きょうどうにて



2/3と4
食事の様子 「ふれあいセンター」

2/19(日)

～23(水)

台湾旅行

札幌協働福祉会では、2月19日～23日の3泊4日の日程で台湾旅行を開催しました。昨年まで同時期に実施していた沖縄旅行をさらに進化発展したもので、今回の参加者はユーザーさん、父母の皆さん、そして法人スタッフも含めると総勢32名。台北市を中心に4泊5日の観光地巡りと台湾料理、モンゴルバイキング等、台湾ならではの料理を満喫する楽しい旅となりました。



台北市内の龍山寺にて



台湾料理を楽しむ皆さん



礁溪老爺パークゴルフ場にて



ナイスショット!



熱心に占いに耳を傾ける
スタッフの田中さん



台北市の行天宮にて観光中の一行

3/30(土)

スポーツ大会

3月30日、札幌協働福祉会では札幌市東区の「つどーむ」を会場にスポーツ大会が開催されました。

会場には、ユーザーさん、父母の方々、スタッフも含め約100名の参加があり、ソフトボール、パークゴルフ、ドッチビー、ウォーキングの4種目に分かれてスポーツを楽しみました。

また、福島県の子どもたちも急きょ参加され、白熱した試合が行われました。



福島の子どもたちも参加し、
白熱した試合、ソフトボール



平坦でも意外と難しい
パークゴルフ



ウォーキングで軽く汗を
流す皆さん



スポンジが入ったディスクを使用する競技ドッチビー

3/25(月)
～4/4(木)

活動の様子



3/25 開校式にて山田校長のあいさつ



3/25 自分でシーツを敷いて寝床の用意



3/26 仁木町の三浦敏幸町長を表敬訪問



3/27 タイヤチューブすべり



3/28 仁木町の大江学園陶芸館にて陶芸体験



3/30 協働福祉会のスポーツ大会に参加



4/4 閉校式で終了証が手渡されました



4/4 見送られ山の家を出発する子どもたち

2/10(日)

人権セミナーへの参加



去る2月10日に、市内中央区社会福祉総合センターで、人権セミナーが行われました。今回で21回目を迎え、行事運営も参加する施設の利用者中心に進行され開催されました。

「私たちに決めることを決めるときは、必ず私たちが交えて決める」

その実現のために勉強するという考えで、各地の仲間があつまりました。アートセンターから宮口卓さんが参加され、次のような感想が寄せられました。

「私が参加した分科会は、ピアカウンセリングで本人さんたちが決められた時間のうち、一人は聞き役で、一人は話す人です。聞いている人は、話をしている人が安心をして話ができるように聞くこ

とに専念します。決められた時間内は、相手の話を止めたり、話を遮ってはいけない決まりになっています。午後からのシンポジウムは、シンポジストさんの発表が少し難しかったような感じがしました」

わたしたちは、67年前に施行された今の憲法の本質、基本的人権により個人を尊重して守られる社会を目指してきました。それ以前は、役所に人身売買の窓口がありました。また、兵隊になれないものは役に立たない者、さらに国の都合で個人の命や人生が左右される社会でした。それから約70年後の現代、基本的人権の単語は浸透しましたが、職場や個人の周りでハラスメントの事例、事件は珍しい話ではありません。このセミナーに参加して、そうした身の周りから人権を考える機会になっていくものと感想を持ちました。

アートセンターあいのさと 荒井 純一

二〇一一年の沖縄旅行にて



坂東真理さん

「ばんちゃん」とのお別れ

2013年3月24日(日)夜、3月21日夜に急逝された坂東真理(享年37)さんのお通夜が24日午後6時、篠路の斎場でしめやかに営まれました。

「ばんちゃん」の愛称で親しまれていた坂東真理さん、この日のお別れには協働福祉会に集う仲間が多数集まり、穏やかな表情の「ばんちゃん」に静かにお別れの言葉をかけていました。



地域行事の紹介

2月9日、第3回あいの雪まつりが、拓北・あいの里地区センターで開催されました。地区センターと北海道沖縄クラブが「シーサー」、札幌協働福祉会「ダンボールなめこ」、カラカネイトトンボを守る会「カワセミ」など三体の雪像を作りました。今年から新企画の「親子で雪だるま」が参加者の親子で作られ会場に飾られました。オープニングには、共催したあいの里商工振興会などによって、おでん、豚汁、シークワサージュース、泡盛が無料サービスされ賑わいました。昨年の倍以上の来場者が集まり、厳しい冬の行事「あいの雪まつり」を楽しんでいました。

2/9(土)



会場で温かい豚汁やおでんを食べる来場者



おばあちゃんと楽しく雪だるま作り



ライトアップされたシーサー

ふれあいセンター A・yell (ア・エール)からのお知らせ

レストラン “**Mon amour**” モナムール



1月15日にプレオープンしましたが、雪に埋もれて気づかなかった事と思います。もうすぐタンポポも咲きそうな季節になり「ふれあいセンター A・yell」併設の「レストラン モナムール」も少しずつ車窓から見えてきました。

■営業時間／昼営業…11:30～15:00(ラストオーダー14:00)
夜営業…17:30～20:00

■定休日／日・月曜日・祝日

宴会のご予約もお待ちしております
TEL 011-214-1116

【メニュー】

オムライス、各種カレー、ハンバーグ、ビーフシチュー
カツ丼、生姜焼き、スパゲティ等、650円から

☆各種アルコール飲料、おつまみもご用意しております。



是非一度お越しください。また、2階には70名収容の多目的ホールがあり、町内会の集会やご宴会等にもご利用いただけます。お気軽にご連絡ください。



—「レストラン “Mon amour” (モナムール)」について—

障がい福祉サービス事業所「ふれあいセンター A・yell (ア・エール)」で就労支援を行っているお店です。

■営業時間 昼営業 11:30～15:00(ラストオーダー 14:00)／夜営業 17:30～20:00
■定休日 日曜・月曜・祝日 E-mail: info-fureai@sapporo-kyoudoufukusikai.jp
札幌市北区あいの里4条5丁目9-3 1階／TEL 011-214-1116

市内配達
無料です！

自然志向の店 あくていぶ

— 4月のお買い得品 —

—「自然志向の店 あくていぶ」について—

障がい福祉サービス事業所
「学園通り あくていぶ」で
就労支援を行っているお店です。



■営業時間
平日・土曜 10:00～17:00
日曜・祝日 定休日

札幌市北区あいの里3条4丁目9-1
TEL 011-778-2377/FAX 011-778-2375
<http://sapporo-kyoudoufukusikai.jp/main/>

笛木醤油

◇春夏秋冬だしの素 630円→**509円**
(720ml)

創建社

◇チキンコンソメ 252円→**204円**
(45g)



HSK たんぽぽ ういん 第16号

昭和48年1月13日 第3種郵便物認可 HSK通巻493号
[発行] 2013年4月10日発行(毎月10日発行) [定価] 20円
[編集人] 社会福祉法人 札幌協働福祉会
アクティビティ・サポートセンター協力会 牧野秋夫
〒002-8055 札幌市北区篠路町福移147-3
TEL:011-792-3969/FAX:011-792-2887
[発行人] 北海道障害者団体定期刊行物協会 細川久美子
〒063-0868 札幌市西区八軒8条東5丁目4-18
TEL:011-736-1724

◎住所変更や送付不要の方は、電話またはFAXにて下記までお知らせ下さい。

社会福祉法人 札幌協働福祉会
アクティビティ・サポートセンター協力会
TEL011-792-3969
FAX011-792-2887 (福田、松岡)